災害時の効果発揮事例

NATIONAL RESILIENCE

効果概要:「谷川池」では、堤体の補強や洪水吐きの流下能力向上を図るための整備を実施。令和4年台風15号に伴う大雨時(110mm/h)において、洪水を安全に流下させることにより、決壊等による被害を防止。

府省庁名:農林水産省

■ 実施主体:静岡県

■ 対象施設:谷川池

対策の効果

対策前

・洪水吐きの流下能力が不足しているため、大雨時に洪水が堤体を越流し、ため池が決壊することで、下流側の住宅約70戸に被害を与える懸念があった。

対策後

- ・洪水吐きの流下能力を大幅に強化
- ・台風15号に伴う大雨(110mm/h)においても被害なし

時間雨量 (mm/h)	洪水吐きの流下能力(雨量換算)				
200		181.8mm/h			
180		101:011111/11			
160					
140	洪水吐きの流	_			
120	下可能な雨量		110.0mm/h		
100					
80	C1 One no /h				
60	61.8mm/h				
40-					
20-					
0	11/2/2014	1.1 800 00	48.5B		
	対策前 (0.67m3/s)	対策後 (1.97m3/s)	台風15号 (1.19m3/s)		

■ 対策の概要及び事業費:

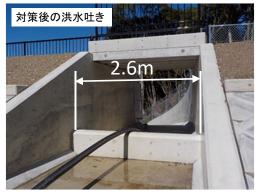
洪水吐き越流幅を1.9mから2.6m へと拡大し、流下能力を0.67m³/s から1.97m³/sへと強化(約2.9倍)。

対策前(61.8mm/hの流下能力)					
対策前の洪水吐き					
1.9m					
and the second second					



事業名		事業費	対策期間
農村地域防災減災事業		1億1100万円	H27~R元
	うち3か年緊急対策	1500万円	H30~R元

対策後(110mm/hの降雨でも被害なし)





防災工事